



平成 23 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ティール・ワイ・オー  
代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者  
吉田 博昭  
( J A S D A Q ・ コード番号 : 4358 )  
問い合わせ先 常務取締役 経営戦略本部長 上窪 弘晃  
電話 番号 03-5434-1586

## 業績予想の修正及び営業外費用の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、業績予想を修正いたします。また、当社は、平成 23 年 7 月期第 2 四半期において、下記の通り営業外費用を計上いたしますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 23 年 7 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期 (累計) (平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り純利益
前回予想 (A)	10,500	360	100	5	円 銭 0.15
今回修正 (B)	11,430	690	480	390	10.35
増減額 (B - A)	930	330	380	385	—
増 減 率	8.86%	91.67%	380.00%	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 7 月期第 2 四半期)	13,580	397	171	△576	△20.79

#### (2) 修正理由

当社の主事業である広告業界におきましては、テレビ広告費を中心に増加傾向にあり、広告需要は緩やかな回復の兆しが表れております。そのような業界環境のもと、積極的な営業展開を図った結果、TV-CM事業が好調に推移いたしました。その結果、売上高につきましては、当初予想より930百万円増の11,430百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、上述の売上高における増加要因と、平成 22 年 7 月に実施したグループ統合等に伴う業務の効率化及びコスト削減施策が奏功し、当初予想より 330 百万円増の 690 百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、営業利益における増加要因と同様であり、当初予想より 380 百万円増

の 480 百万円となる見込みです。

四半期純利益につきましては、経常利益における増加要因と同様であり、当初予想より 385 百万円増の 390 百万円となる見込みです。

当第 2 四半期連結業績につきましては、不採算事業やエンタテインメント事業からの撤退の影響を受け、総売上高は前期比で減少しておりますが、既存事業売上高で比較すると伸長する見込みです。また、上述の通り TV-CM 事業が好調に推移したことと、業務効率化及びコスト削減施策が奏功したことが寄与し、利益は大幅に回復する見込みです。

平成 22 年 12 月に第三者割当増資を実行したことで、純資産及び自己資本比率が改善されましたが、今後も収益力強化と有利子負債の圧縮を図ることで、当社グループの最重要経営課題である「財務基盤の強化」を達成してまいります。

## 2. 平成 23 年 7 月期 個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期 (累計) (平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当り純利益
前回予想 (A)	8,700	230	50	50	円 銭 1.51
今回修正 (B)	8,880	630	480	460	12.21
増減額 (B-A)	180	400	430	410	—
増減率	2.07%	173.91%	860.00%	820.00%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 7 月期第 2 四半期)	1,603	371	375	33	1.20

### (2) 修正理由

売上高につきましては、連結売上高における増加要因と同様であり、TV-CM 事業が好調に推移した結果、当初予想より 180 百万円増の 8,880 百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、連結営業利益における増加要因と同様であり、当初予想より 400 百万円増の 630 百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、連結経常利益における増加要因と同様であり、当初予想より 430 百万円増の 480 百万円となる見込みです。

四半期純利益につきましては、連結四半期純利益における増加要因と同様であり、当初予想より 410 百万円増の 460 百万円となる見込みです。

## 3. 営業外費用の計上及びその内容

当社は、平成 22 年 12 月 30 日付で、第三者割当増資を実施いたしました。当該増資に伴い、営業外費用として資金調達費用 106 百万円を計上する見込みであります。なお、営業外費用の計上による業績への影響等につきましては、上記の「1. 平成 23 年 7 月期 連結業績予想の修正等」及び「2. 平成 23 年 7 月期 個別業績予想の修正等」に記載の各予想値に織り込んでおります。

なお、通期業績予想 (連結・個別) については、現時点において平成 22 年 9 月 24 日付「平成 22 年 7 月期決算短信」にて発表した数字から修正はございません。通期業績予想につきましては、現在精査中ではありますが、通期業績予想数値が確定次第、速やかに開示いたします。

以 上